

「たてわり」を振り返って

1回目の顔合わせ
どんなグループにな
るか、ドキドキします。



異年齢集団での人と人のかかわりの中から、思いやりの心や高学年のリーダー性を育てたいという願いから、「たてわり」が始まって今年で3年が経ちました。

遊びやお弁当集会、たてわり給食などを通して、異学年が交流する機会を今年もたくさんもつことができました。

また、今年は展覧会にちなみ、たてわり造形活動に新たに取り組めました。6年生を中心として、グループで作品のテーマを決め、協力して「スケキラ カーテン」を作ることができました。

このような6年生の姿を見てきた5年生も、来年度、新たなリーダーとして活躍してくれると期待しています。

特別活動部 たてわり担当 加藤 浜田



今年度最初のたてわり遊び
6年生が上手にリードして、みんなの緊張もほぐれてきました。楽しく遊んでいますね。

この色を重ねたら
きれいだね。



たてわり造形活動



ここに置いたら？

スケキラ カーテンのできあがり



たてわりお弁当集会
立野公園に行って、みなでお弁当をいただいたあと班遊びをします。もう、すっかり活動に慣れてきました。



心を育てる ~立野の生活指導~

学習用具のきまりを見直そう

学校のきまりの中から、持ち物のきまりにかかわる部分を抜粋しました。お子さんの持ち物はいかがですか。

- ・どれも記名がされていますか。残念ながら持ち主の見つからない落とし物が毎年たくさんあります。名前さえあれば持ち主に返せるのです。
- ・上ばきは2カ所に記名してありますか。特に前面の記名忘れが目立ちます。
- ・文房具はシンプルな物を使用していますか。学習に集中するためには、他に気が散らないようシンプルな文房具が適しています。また、友達同士の不要なトラブル防止につながります。

お子さんと一緒に持ち物の確認をお願いします。

- ・持ち物には、学年・組・名前を書く。上ばきには前面とかかどに書く。
- ・学習に必要な物は持ってこない。
- ・赤鉛筆を使う。必要な場合は青鉛筆を持ってきてよい。
- ・文房具などは、シンプルなデザインのものにする。
- ・シャープペンシルの使用は、校外学習の時に学年で指定した時のみ使用できるものとする。

教室の窓から



2年2組 担任 山岸 由佳
24人という立野小では、一番少ないクラス人数ですが、元気いっぱいの子供たちばかりで、教室は毎日賑やかです。学習でも活発に発言し、1時間の授業で全員が発表できたことも少なくありません。そんな子供たちが、今、楽しみにしているのが1年生を招待して、手作りおもちゃのお店を開く「みんな集まれ！作って遊ぼう！」という生活科の学習です。計画・準備・開催方法まですべて子供たちが考えました。4月からは中学年の仲間入り。パワーあふれる子供たちの成長がとても楽しみです。

4年1組 担任 中野 智美
同じクラスの仲間になってもうすぐ丸2年。進級・クラス替えの時期が近付いてきました。そんな子供たちに聞いた4年1組のいいところ。「元気いっぱい」「男女関係なく仲がいい・大きなケンカが少ない」「みんなで協力できる・助け合える」「思いやりがたくさん」「笑いがたくさん・おもしろい人がたくさん」「折り紙の作品がすばらしい」などなど。担任としてうれしいことは、これだけたくさんのよさを見付ける目をもっていることです。子供たちのあたたかい心を大切にしていきたいです。